



ミンガラバー

NPO法人
日本・ミャンマー
医療人育成支援協会
〒700-0811
岡山県岡山市北区番町2丁目6番7号
TEL:086-224-0102
URL:http://www.mjcp.or.jp



▲ミャンマーに建設した「あかねクリニック」
Thida Myaing Clinic

2009年9月 念願だった診療所をミャンマーに建設し寄贈しました。写真でも分かるように、このクリニックは大変土地の低いところにあり、昨年5月のサイクロン災害で多大な被害のあったところでした。そして日本人からすればとても診療所に見えないような小さな施設ではありますが、ここでなんと4万人もの人々の健康管理や診療をカバーするのだそうです。この診療所に「あかねクリニック」と命名し、これで私のミャンマー支援も一山超えたと考えています。

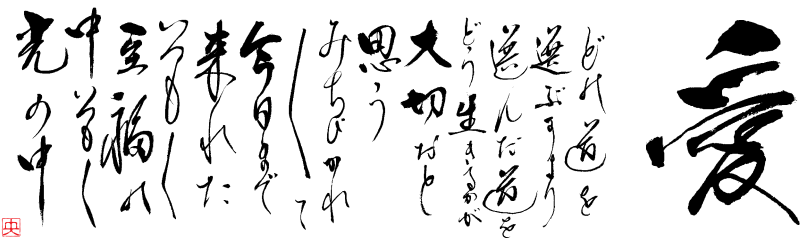


▲スタッフに迎えられて

私がミャンマー支援に関わるようになったのは、現理事長のミャンマーにける熱意を長年にわたり見聞きし、その純粋な思いに感銘を受けたからです。そして、

「ミャンマー病」に感染したかの様に、いつの間にか私も私財のパーツを齎や事務所に提供したり、広報活動をしたり、ミャンマーからのお客様をおもてなししたりとNPOの活動に協力して参りました。会が発足して早や4年になり、ミャンマーから来た研修生を何人もお世話しながら、みんな素敵な方たちばかりで、まるで娘や息子のように思えて人種も国境もないんだなあと常々感じております。ミャンマーの研修生は私のことをママと呼んで帰国した後も手紙をくれます。とても楽しみで嬉しいことです。この嬉しさを誰かと分かち合いたいと思ったとき、私の隣人から一人でもいいからミャンマーのことを知って欲しい。そして

岡山から発信する
ミャンマーとの絆
微笑みの国ミャンマーと笑顔のつながりを広めて
理事 **西山 央子**



て国際交流、国際支援の輪をもっと広げて多くの人に参加して欲しいと思いました。そこで会の運営をなるべく大勢の人に携わってもらい喜び、そしてちよびり苦労も一緒に出来ればと思いい員増強プロジェクトを推進することになった。詳細を下記にまとめましたので、ご一読の上ご支援ご参加いただければ幸いです。



▲贈呈式

チェンジ みんなの集まれるサロン その2 ミョーリンジェ・エインの開設! (望みの家)

10月の第2週の日曜日から岡山市北区駅前町二丁目4-23 茜ビル2Fを開放してミャンマーを知りたい人のためのサロンを開催いたします。(場所はホームページをご覧ください)

名前は「ミョーリンジェ・エイン(望みの家)」です。ミャンマーからの留学生も来ます。ミャンマーの写真パネルも常設します。お気軽にお立ち寄りください。会員同士の親睦も深め友だちの輪を広げましょう。

ミャンマーからの研修生は日本のことを知りたがっています。また日本人と友達になりたいと考えています。是非サロンで交流してください。そうすれば研修生のその後の活躍ぶりやミャンマーからの音信に親近感を覚えることでしょう。国や民族は違っていても、多くの共通点を見つけることが出来れば自然と友だちになれるでしょう。

望みの家 連絡先：090-8998-1508 (担当 西山)

チェンジ その3 ミンガラバー編集員募集!

次回より編集員による新企画を予定しています。編集員によって会の活動やミャンマーに関する内容を取材し皆様に報告します。

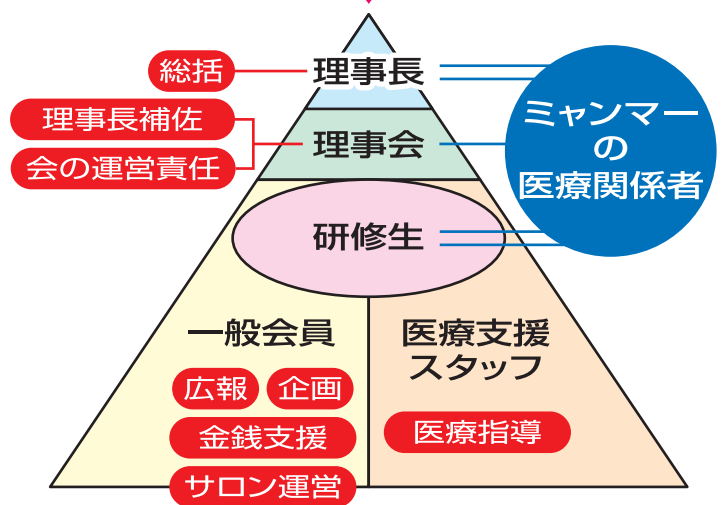
また会員の意見のコーナーを設けたりミャンマーで活躍する医療関係者からの寄稿記事の掲載、研修生のその後の活動状況も詳しく報告いたします。

またミャンマーに関わっている人々に取材したり寄稿をお願いする事で、よりミャンマーを身近に感じていただけるように努めて参ります。編集員は会員によって結成したいと思いますが、ボランティアの若い人たちにも参加していただきたいと思っておりますので是非ご参加ください。

お問い合わせは：090-2002-3186 (担当 河原)

チェンジ!! 会員増強プロジェクト

このたび会員増強プロジェクトと銘打ち、今までになかった企画や運営を会員によって積極的に進めていき、会員の輪を広げていこうとするものです



チェンジ
その1 会の組織を会員のしっかりした支援で支えるピラミッド型に築きたいと考えています。会の運営や活動に多くの方に参加してもらい、自分達の会であると感じていただきたいです。

「NPO会員の皆様へ お礼の言葉」 カイン・ウィン・トゥン

私がこの先進国に来ることができたのは皆様のおかげと心から感謝しています。岡山は美しいだけでなく、住んでいる一人一人の市民も美しい心を持っていると感じました。

私にとって幸せだったのはNPOを牽引している方達は私たちを援助して下さるだけでなく、賢明で知性的な先生達ばかりだったことです。そのお一人は私の担当

である医歯薬総合研究科細菌学教室の指導者小熊恵二教授です。先生は私の10週間の研修の間、非常に親切で丁寧に指導して下さいました。私は進んだ実験方法を観察し実際に自分でやってみる機会を持つことができました。今ではPCR法（遺伝子研究に欠かせない遺伝子を増幅する方法）も自分で行うことができます。

岡田茂名誉教授はこの組織の指導者ですが、私にとっては父のような存在でした。岡山は街が暖かく安全に感じたのはこの先生のおかげです。西山さんには瀬戸大橋など岡山の周辺の街を案内して

もらったり、いろいろな日本食を食べさせてもらいました。小出典男教授には岡山大学病院の中を見せていただきました。特にロボット化の進んだ検査室にはびっくりしました。私は運が良かったと思います。視野がずっと広がり、これまでの知識は何だったのだろうかと思うほどです。私にはまだまだ勉強が必要です。准教授の先生、若い先生達、実験の仲間、多くの日本人の友達、本当にありがとうございました。紙面の都合で名前を挙げられないことをお許し下さい。

私の研修に費やした多額の（本当に思います）費用……。本当に多額です。私はもうタバコを止めることができます。私はこの約束を一生守ります。私は皆様の街岡山にも一度来たい、博士号をとるための勉強をするために、このことを楽しみながら挑戦します。

岡山よさようなら！これからも皆様に繁栄が続きますように。皆様が健康で豊かで、いつまでも安らかであり続けることをお祈りします。

注：カイン・ウィン・トゥン医師は平成21年5月31日より8月8日まで岡大医学部細菌学教室で研修を行いました。中部ミャンマー医学研究局の



研究員（細菌学）

カイン・ウィン・トゥン

「NPOに感謝」 ジン・ジン・トゥン

誰しも家族や仕事、豊かさや健康など色々なことについて、すてきな夢を持っているでしょう。私も皆さ

と同じように夢を持っています。それは国際的な雑誌に論文を書きたいという夢です。この度私はとても素晴らしい機会を得ることができました。それは10週間にわたる日本での研修です。それを聞いたときはとても幸せに思いましたが、同時にその機会を上手く活かせるかどうか大変心配になりました。というのも、私は分子化学の技術については殆んど経験がなかったからです。その勉強については、まずサンプル蒐集・保存などから始めねばなりません。NPOでは私の研修を岡山大学医学部の検査医学講座（小出典男教授、原野

昭雄博士、HLA研究所（佐治博夫博士）で行う手はずを整えてくれました。そして日本に来る前にサンプルの蒐集・保存の方法についても教えてくれました。NPOの支援が私に想像以上のものでした。宿舎、生活費、交通手段（自転車）の他に、私が道に迷うことを心配されたので携帯電話も用意してくれました。また余暇には三原市での祭り見物（武田理事、西山理事、小熊理事、赤木会員）オーケストラ演奏会、シヨッピンなどに連れて行ってもらいました。

私の研究内容はミャンマーの各民族のHLAタイプ（移植適合抗原のこと）で、多くのタイプがあり、民族が違くとタイプの分布も異なっている）を調べることに焦点がありました。私はミャンマーで多数を占めるビルマ族とカイン族の血液サンプルを集めました。ミャンマーのHLAタイプについての研究はこれまで世界中で行われたことはありません。私はこの仕事を終えました。そしてこの興味深い結果についての論文を仕上げ、国際誌に発表したいと思います。NPOの支援無しに私の夢を実現することは不可能でした。私は他の少数民族につ

いてもHLAタイプの研究を続けたいと思いますし、それをやり遂げられるように努めたいと思っています。NPO会員の皆様の温かいご支援に対して心からお礼申し上げます。

注：ジン・ジン・トゥン医師は9月22日帰国。国立医学研究局血液研究部門所属。



三原市港祭りにて

パネル展を開催しました

ミャンマーのこと、支援活動の様子などもっとみんなに知ってもらおう！



医療法人 平病院

岡山県和気郡
和気町尺所

2009年
9月10日～30日

地球市民フェスタ in おかやま 2009

岡山市奉還町商店街
2009年 7月25日



あかね動物病院

福山市御幸町下岩成

2009年
8月3日～9月7日

パネル展を開催してもいいと思われる
医院、病院、施設などご紹介下さい



NPO主催 ミャンマー旅行 パガンと ヤンゴン6日間の旅

前号のミンガラバーでもお知らせしたとおり2009年9月3日より8日までミャンマーを訪問いたしました。日本で研修したなつかしい方々とも再会し楽しい旅行になりました。またティダマインでは新しいクリニックを見学しスタッフの熱烈的な歓迎を受け贈呈式も行いました。帰国後（10月14日）には参加した皆様同士旅行の写真を披露しながら思い出話を花を咲かせ親睦を深めました。

＜サイクロン被害の直後のクリニック＞



▲カローチテKalauchyte地区ヘルスセンターの破壊直後の写真。これを「あかねクリニック」として再興した。



▲応急に建てたクリニック。側のトタン板は壊れた時のままのもの。